

■概要

狙いは、国際ユニヴァーサルデザイン協議会（以下 IAUD と略す）標準化研究ワーキング小学校ユニバーサルデザイン研究タスクフォースと協同して研究している「小学校ユニバーサルデザイン教材・指導要領の開発」に基づく小学校向けのユニバーサルデザイン（以下 UD と略す）実習授業の指導要領、教材、説明スライドを作成し、どんな教員でも教育現場にて使用できる柔軟かつ採用しやすいプログラムを作成する。

■背景

1. 2015 年頃文部科学省小学校のカリキュラムに UD の理解を促す授業の導入が必須となった。その後 IAUD に小学校 UD 教育の問い合わせが発生した。本年度も東大阪の某小学校から問い合わせがあり IAUD 経由で当方が説明した。

2. 2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催が決定し、開催の条件として安部首相は UD を徹底することを関係機関に指示し、主催機関である東京都は UD の敷衍に傾注した。特に東京都は小学校の UD 教育を義務化し、関係機関、企業などの参画を呼び掛けた。当タスクフォースも、IAUD 本部より本プログラムを申請した。

3. これまで小学校 UD タスクフォースでは、福岡市照葉小学校、東京都江東区第六砂町小学校、名古屋市立栄小学校、名古屋市立鶴舞小学校で小学校 UD 教育実習でのフィジビリティスタディを繰り返し、現場の教員と意見を交わし教育現場実装へのヒントを得た。その成果を 3 回国際 UD 会議で発表している。

評価として、瑤子女王殿下から、「これから日常生活を過ごしていくことで、考え方が変わったり、新たな発見が出てくると思いますが、一番最初に皆さんが感じたことを忘れないでほしい。この発表をしてくれた中から（UD の）プロフェッショナルが出てくれたら、IAUD の総裁として嬉しい。今日の発表では皆さんがそれぞれの役割をできたので、私は 100 点の評価をあげたい」と、大変温かいお言葉を頂いた。

■具体的取組み

当該プログラムは、日本を代表する企業の UD 専門家が集まって IAUD 研究部会標準化ワーキング小学校 UD タスクフォースにて論議し作業を分担してつくりあげた。タスクフォースメンバーは以下である。

三菱電機	江口裕子
富士ゼロックス	佐藤由美
	木暮毅夫
日産自動車	松下詩穂
	村田純一
トヨタ自動車	野中博之
トヨタ自動車	登坂亮祐
大阪芸術大学	久保雅義

具体的には、①教育委員会、教員向け UD 教育指導要領(教育実装の検討のため)案、②授業時に配布する見用テキスト(34 頁)、③授業用スライド(教員説明用)をまとめ上げた。

本プログラム内容は、以下の 6 項目からなる。

1. 知る－UD ってなんだろう？（ガイダンス）
2. 気づく－体験しよう（疑似体験）
3. 触れ合う－当事者の方から話を聞こう（障害者のヒアリング）
4. 調べる、深める－公共施設で工夫されていることを探してみよう（UD, バリアフリー施設の体験）
5. 話し合う－感じたことを言葉にしてみよう（ワークショップ形式でディスカッションとまとめ）
6. 伝える－発表してみよう（学校、関連会議など）からなる。

また、現場実装にあたり授業準備プロセスを整理し、打ち合わせやふりかえりまでのアセスメントプログラムもつくりあげた。

1. 当日までの準備－会場、授業時間日程などの決定
2. 教室、実施場所の下見－打ち合わせ、リハーサル
3. 実施日の会場設営－ワークシート教材備品配備
4. 授業時の協力者（障害者などのヒアリング相手の QA など）疑似体験、ワークシート、道具準備
5. 学校への確認事項－荷物確認、近隣施設（駅など）利用の承認、担当要員の確保など
6. ふりかえり－評価アンケートなどの分析

多様な教育現場に実装するために、プログラムの多元展開をすすめている。つくりあげた小学校 4 年生向けプログラムを、高学年向け・低学年向けへと対象を全小学校学年に拡大し、どの学年でも UD 実習授業が実施できるように指導要領や説明スライドの柔軟性を確保できるように配慮した。標準的なフルコース約 15 時間程度のプログラムを、ショートバージョンなども整え、小学校の多様なニーズにも対応できるように指導要領を編纂している。このプログラムの有効性を今後、首都圏、関西地域で実装して制度を確認する。

■まとめ

1. 教員・教育委員会・学校に説明できる指導要領、子供向けのテキスト、授業用スライドをまとめ上げた。
2. 準備のアセスメントプログラムを現場と相談して仕上げ、使い勝手の良いツールを整えた。
3. タスクフォースメンバーが年度の半ばで離脱し、後半少ない人員で対応したため実装実験にての確認には至らなかった。IAUD ホームページに掲載して、多くの活用を促進できるよう準備をしている。